

展示資料一覧

NO.	書籍名	著者名	おすすめコメント
1	2040教育のミライ	磯津 政明	20年先の未来を見通す教育論が語られている。現在の教育界を取り巻いている状況の広範囲をカバーしている。
2	日本の英語教育200年	伊村 元道	日本の英語教育について議論するうえで知っておくべき英語教育の歴史がまとめられている。
3	英語教育論争史	江利川 春雄	日本の英語教育に関する様々な論点を知ることが、これからの英語教育を考えるうえで参考になる。
4	日本の「英文法」ができるまで	斎藤 浩一	日本の英語教育における英文法がどのように形成されてきたのかがよくわかる。
5	英語は「教わったように教えるな」	若林 俊輔	指導方法の改善が必要な現在だからこそ読みたい、故若林俊介東京外国語大学教授の遺稿集
6	英語の素朴な疑問に答える36章	若林 俊輔	浅い知識では答えられない生徒からの疑問があることに若い教員には気付いて、学び続けて欲しいという期待を込めて選んだ本。
7	テストが導く英語教育改革	根岸 雅史	問題作成の奥深さを理解して、良問作成に取り組んでほしいという思いから選んだ本。
8	OECD Education 2030 プロジェクトが描く 教育の未来 エージェンシー、資質・能力とカリキュラム	白井 俊	OECDの「Education2030プロジェクト」に描かれた教育の未来について、分かりやすく解説されている。
9	目の見えない白鳥さんとアートを見に行く	川内 有緒	タイトルから想像するストーリーをはるかに上回る、人間や社会の在り方を深く考えさせられる内容。水戸を舞台に繰り広げられる。
10	7つの習慣ティーンズ	ショーン・コヴィー	ベストセラー『7つの習慣』ジュニア版。学校の教師に限らずの多くの指導者が薦める「人生をどう生きるか」についての良書。
11	なんのために学ぶのか	池上 彰	「学びの喜び」と「学びの意義」についてより深く学べる本。
12	なぜ、読解力が必要なのか？	池上 彰	「読解力」は人生に欠かせない力（池上氏の言葉）。教師としても必要な力だし、子供たちに読解力を付けたい立場である教師としてはぜひ一読いただきたい本。
13	なぜ、いま思考力が必要なのか？	池上 彰	思考力とは「自分がよりよくなる力」（池上氏の言葉）。未来に生きる子供達には身に付けたい力。読んでいるうちに自分の思考力も活性化される本。読みやすい。
14	キャリア教育フォービギナーズ	藤田 晃之	キャリア教育の基本や疑問が、初心者にも分かりやすく、事例豊富に語られている。キャリア教育を理解するのに最適な1冊。
15	女の子がいる場所は	やまじえびね	モロッコ、インド、アフガニスタン、日本……国も宗教も文化も違う10歳の少女たちの物語。「女の子だから」という理由だけで、女の子に生まれた事で、「生きたい道」と「生きられる道」が変わってしまう。我々はどれだけ本気でこの事実に向き合っているのだろうか。
16	サトコとナダ	ユベチカ	アメリカ留学をした日本人大学生サトコと、サウジアラビア大学生ナダが、ルームシェアを通じお互いの理解を深めていく。日本人にとって馴染みの薄いイスラム教について、理解を深め身近に感じられる必読の書。
17	特別活動で学校を楽しくする45のヒント 笑顔あふれる学校にしよう！	安部 恭子	基本的な特別活動にしっかりと取り組むことによって、児童が「学校に行くのが今よりも楽しくなる」ことを目指した1冊。11の実践例と、令和2年度から始まった「キャリア・パスポート」の最新事例2つを掲載しており、理論と実践が同時に読める。
18	道徳科 授業構想グランドデザイン	浅見 哲也	道徳科の授業構想「指導の意図をもつ」とは、「主体的・対話的で深い学び」とは、「発問の工夫とは」授業構想の疑問に具体的かつ端的に示されています。授業例の掲載もあり実践に役立つ一冊です。
19	ほんとうの道徳	苫野一徳	そもそも（本質）を考える苫野一徳先生の「哲学対話」を事例と共に学べる本。
20	個別最適な学び・協働的な学びを実現する「学びの文脈」	榊山 敏郎	「子供の視座に立って学びをデザインする」ことの大切さを教えてくれる一冊です。学級づくり・授業づくり・学校づくりの事例を通して、令和の日本型学校教育の在り方を探ります。
21	おさえておきたい指導の要点&技術50	白石 範孝	国語の授業づくりに必要な細かな指導方法について学べる一冊です。論理的に「考える」授業づくりの基礎・基本が具体的な場面で分かります。
22	「主体的・対話的で深い学び」を実現する 知識構成型ジグソー法による中学校国語授業	飯窪真也 齊藤萌木 白水 始	「知識構成型ジグソー法」という授業手法を用いて、対話を通じて一人一人が自分の考えを見直し、理解を深めていくような学びを引き起こす授業づくりについてまとめた一冊です。
23	子どもたちに民主主義を教えよう——対立から合意を導く力を育む	苫野 一徳 工藤 勇一	学校での民主主義を再度問い直すことができる本です。日本を代表する教育哲学者、苫野一徳氏と教育改革で著名な工藤勇一氏の共著です。
24	まんがで知る デジタルの学び・ICT教育のベースにあるもの	前田 康裕	元熊本市教育センター主任指導主事で、熊本大学特任教授の前田氏の著書（文と漫画）。1人1台端末時代に突入した小学校を舞台に、デジタル社会になっても変わらず受け継がれる教師のあり方が描かれています。
25	まんがで知る未来への学び これからの社会をつくる学習者たち	前田 康裕	「教育改革」が目指すものとは何か？旧態依然の学校、時代に取り残される地域社会。働き方も生き方も新たな局面を迎えたいま、学校と社会全体が向かうべき方向を描いた本です。
26	まんがで知る未来への学び2 教師も変革を起こす時代	前田 康裕	「まんがで知る未来への学び」シリーズ第2弾。人口が減少している地方の町を、学びの力で呼び覚まされた人々の思いが少しずつ変えていきます。STEAM教育やSDGs、OECDが推進する教育プロジェクトまで、学びのトレンドが自然に頭に入ります。
27	まんがで知る未来への学び3 新たな挑戦	前田 康裕	「まんがで知る未来への学び」シリーズ第3弾。人口減少に悩み、少子高齢社会の中で活性化を模索する町。中学生を中心に、町の一人一人が社会の形成者として新しい価値を創造していく姿を描きます。

NO.	書籍名	著者名	おすすめコメント
28	まんがで知る教師の学び これからの学校教育を担うために	前田 康裕	そもそも、学ぶとは何か？ 学び続ける教師とは？ 臨時採用教員として小学校にやってきた吉良先生を中心としたストーリーで、教師に求められる資質・能力・知識がわかる本です。
29	まんがで知る教師の学び2 アクティブ・ラーニングとは何か	前田 康裕	今求められる教師の学びを、まんがで分かりやすく解説した『まんがで知る教師の学び』シリーズ第2弾。アクティブ・ラーニングをテーマに、キーワードや学習指導要領改訂のポイントを驚くほどわかりやすく解説した本です。
30	まんがで知る教師の学び3——学校と社会の幸福論	前田 康裕	働き方改革、新学習指導要領、カリキュラム・マネジメント、学校と社会の連携など、今注目のテーマについて書かれたシリーズ第3弾。
31	現場で使える教育社会学 教職のための「教育格差」入門	中村 高康 松岡 亮二	学校現場の教師や教員を目指す学生、大学教職課程の担当者などからの膨大なフィードバックをもとに、〈教育格差〉と現代教育の諸側面との関わりを解説した一冊です。
32	教育DXで「未来の教室」をつくろう—GIGAスクール構想で「学校」は生まれ変わるか	浅野 大介	経済産業省元教育産業室長の浅野大介氏の著書。各国の教育改革やOECDが発表しているこれからの教育を見据えつつ、経産省が関わりさまざまな学校で始まった試行錯誤の実践事例も紹介し、実現可能な「未来の教室」のありようを可視化した一冊です。
33	高校国語 新学習指導要領をふまえた授業づくり 理論編	大滝 一登	高校国語科教員とその志望者にぜひ読んでいただきたい。これまでの国語科教育の成果と課題、これからの国語科教育に求められる方向性と責務、新学習指導要領の理念と内容、新しい授業づくりに向けたポイントが示されている。
34	高校国語 新学習指導要領をふまえた授業づくり 評価編	大滝 一登	観点別学習状況の評価の改善・充実について、その理論と実践事例をポイントを押さえて紹介。選択科目も含め、全科目全領域の実践事例を紹介。ICTを活用した評価の事例を多数掲載。
35	高等学校国語 カリキュラム・マネジメントが機能する学習評価	高木 展郎	カリ・マネについて、分かりやすく解説。国語科以外の高校教員等にもおすすめ。
36	評価が変わる、授業を変える：資質・能力を育てるカリキュラム・マネジメントとアセスメントとしての評価	高木 展郎	新学習指導要領下で求められる資質・能力の育成に向けた評価のあり方について、背景にある考え方や、カリキュラム・マネジメントに基づいて授業を変えていくための具体的な方法などが分かりやすく示されている。
37	できる評価・続けられる評価	澤井 陽介	社会科をはじめとする学校現場の実践例などを交えながら、学校段階を問わず、どの教科等にも通用する学習評価の考え方・方法を分かりやすく解説。見落としやすいポイントなども示されている。
38	イラスト図解ですっきりわかる理科	鳴川哲也 他	改訂された学習指導要領における小学校理科のポイントを理解できます。
39	イラスト図解ですっきりわかる理科 授業づくり編	鳴川哲也 他	上記の続編で、実際の「授業づくり」に焦点を当てています。
40	伝え方が9割	佐々木 圭一	伝え方には、シンプルな技術があります。知っているか、知らないかだけのこと。奥が深くて自分はまだまだ実践できません。
41	人は話し方が9割 ※こちらの資料は貸出中のため、展示していません。	永松 茂久	誰にでも身につけることができる、「ちょっとしたコツ」です。話し方を少し変えるだけで、仕事もプライベートも、すべてが大きく好転するという内容。スキルとして身に付けたいですが、なかなか難しいです。
42	世界一わかりやすい教える技術	向後 千春	「教えること」を教える先生が書いた、教え方のバイブルです。仲間も自分もラクに仕事が進められる、教え方の極意。これなら誰でも「教え上手」になれるような。理想は高くもちたいです。
43	コルチャック先生	近藤 康子	子どもの権利条約の父、と言われる人の伝記です。単に子どもの権利を唱えるだけでなく、実践した人です。自分の教育観の甘さを実感しました。
44	結果を出す「仕組み」の作りかた	橋本 徹	リーダー論にまつわる書籍が売られていますが、これ一冊で十分。そう言い切れるほど、内容が濃い。まさに現場を知る人間が書いた本です。
45	フィードバック入門	中原 淳	フィードバックには、ポジティブなものやネガティブなものがありますが、本書は、ネガティブな現状に対して、必要なフィードバックについて語った本です。
46	教えない授業 美術館発、「正解のない問い」に挑む力の育て方	鈴木 有紀	対話型鑑賞の入門書。美術だけでなく全教科への応用が可能です。
47	色から始まる探究学習	秋田 喜代美	アートを中心に、学校、地域、大学等で連携して行った探究学習についての本です。
48	ヤマ場をおさえる学習評価	石井英真、鈴木秀幸編著	漫画混じりで、わかりやすく、評価の基本を学べます。
49	小学校外国語教育の指導と評価	直山木綿子監修	漫画と解説、事例から成る、評価について理解しやすい本です。
50	見つけよう音楽の聴き方聴かせ方	山崎 正彦	学校で鑑賞指導が行われる意味、方法、小中学校での事例を学ぶことができる本です。
51	必ず身に付けたい テッパン指導スキル55	高倉 弘光	小学校での音楽の授業づくりで多くの教員が感じる疑問、悩みへの答えが見つかる本。教員経験が浅い、音楽の指導が苦手、という方から、音楽専門のベテランの方まで気付きや学びを得られる一冊。
52	You Tubeで授業／学級経営をやってみた！	原口 直	YouTubeを使って学校でできること、使い方、配慮事項などを知ることができる一冊。教科の授業での活用例だけでなく、学活、特活、職員会議や研修での実践例の紹介もあります。
53	教えから学びへ 教育にとって一番大切なこと	汐見 稔幸	自分が受けてきた教え込みから脱却し、生徒自らが学ぶ授業を目指すために参考となる一冊です。
54	自ら学ぶども	櫻井 茂雄	自ら学ぶ意欲の根源に向き合い、分かりやすく整理されています。主体性について考える際に、心理学的視点から整理できます。
55	先生たちのリフレクション	千々布 敏弥	日々の忙しさの中で、授業改善に向けて教師として、どのように行動していけばいいかのヒントが得られます。

NO.	書籍名	著者名	おすすめコメント
56	授業づくりのゼロ段階—Q-U式授業づくり入門	河村 茂雄	もはや古典ですが、これから授業づくり、学級経営、生徒との関係づくりを考える人には、絶対役に立つ本です。河村先生のシリーズは、必読。
57	3時間で学べる「令和の日本型学校教育」Q&A	新しい学習指導要領を研究する会	天笠茂先生を始めとする錚々たる執筆陣によるわかりやすい解説書。本当に3時間で学べます。
58	新3観点の学習評価完全ガイドブック	鈴木 明子 杉山 久仁子	家庭科の学びの大切さを想い、多くの皆さんと情報共有したいと考えている13名の先生方が工夫を凝らした14事例の授業が紹介されています。学習評価方法の参考にはかりではなく、授業の創意工夫や教材の改善が学べる一冊です。
59	生活をデザインする家庭科教育	堀内 かおる	2017年・2018年に告示された学習指導要領に基づき、「これからの家庭科教育」について論じた一冊です。
60	中学校保健体育指導スキル大全	鈴木直樹	すぐに使える具体的な授業実践例が、見開きページ簡潔に掲載されています。それぞれの事例を2～3のポイントで示しており分かりやすいです。
61	体育授業のICT活用アイデア56	鈴木直樹	悩みが多く聞かれるICTについて、使いたい場面ごとに「初級」「中級」「上級」に分けて掲載されており、活用方法と授業アイデアが豊富です。
62	動画で早わかり!「教科担任制」時代の新しい体育指導:ゲーム・ボール運動編	根本 正雄	学習のねらい、上達のコツ、習熟度に応じた場づくりを、丁寧に解説が書かれています。QRコードで動画も掲載されているので、そのまま授業で活用できます。
63	数学者図鑑	本丸 諒	アルキメデス、ニュートン、ガウス、オイラーなどを中心に30人以上の数学者のユニークなエピソードが書かれています。
64	名著復刻 楽しい社会科授業づくり入門	有田 和正	授業構成のポイント、教材研究の仕方、学習活動活性化のポイントなど、教室に熱気を生む、楽しい社会科授業づくりの方法をまとめた名著です。授業が生まれ変わります。
65	10年後の子どもに必要な「見えない学力」の育て方	木村 泰子	正解のない時代を生き抜く力をつけるために、今、大切なことは?子どもが自分で考えて行動する「見えない学力」を身に付けるためには、子どもにどう関わればよいのか考えることができる一冊です。
66	算数的表現力を育てる授業	田中博史	筑波大付属小で算数授業の第一人者である田中教諭の代表作。表現力を高める授業の実践事例が豊富に掲載されている。
67	デジタル・シティズンシップ プラス—やってみよう!創ろう!善きデジタル市民への学び	坂本 旬(他7人)	GIGAスクール構想下において、喫緊の課題であるデジタル活用に関する教育の在り方、具体的な実践方法を学べる名著である。
68	個別最適で協働的な学びをどう実現するか 令和の授業イノベーションを考える	奈須 正裕 他	STEAM教育の事例や、知識構成型ジグソー法を用いた授業実践など、教育における「革新」「刷新」「変革」をもたらす内容が紹介されています。
69	教育DXで「未来の教室」をつくらう—GIGAスクール構想で「学校」は生まれ変わるか	浅野 大介	これから子どもたちが生きていく社会で求められる力を育てるために、どんな教育を実現していくべきか?各国の教育改革やOEC Dが発表しているこれからの教育を見据えつつ、経産省が関わりさまざまな学校で始まった試行錯誤の実践事例も紹介し、実現可能な「未来の教室」のありようを可視化する。
70	作ることで学ぶ Makerを育てる新しい教育のメソッド	Sylvia Libow Martines . Gary Stager 著 阿部 和広 監修 酒匂 寛 訳	「なぜ私たちはものを作るのか、それは、私たちは生まれながらのメイカーだから。」監修者阿部和広氏の言葉ではじまる本書は、ルソーの「エミール」、フレーベルの「子どもの庭」、ピアジェの「構築主義」とババートの「構築主義」、これらの理念が散りばめられ、ものづくり教育、ひいては、プログラミング教育、STEAM教育の原点について深く考え、子どもたちの求める学びの姿についてインスピレーションを得ることのできる良書である。
71	ライフロング・キンダーガーデン 創造的思考力を育む4つの原則	ミッチェル・レズニック	子どもたちを真のデジタルネイティブである「クリエイティブ・シンカー」(創造的思考力・発想力を身に付けた人)に育てるにはどうしたらよいのか——。そのために、大人たちはどのように振る舞えばよいのか——。プログラミング言語「Scratch(スクラッチ)」の開発者が世に問う、人生100年時代の新しい教育論。
72	学習する学校——子ども・教員・親・地域で未来の学びを創造する	ピーター・M・センゲ 著 リヒテルズ直子 訳	重量感はあるが、「教える」組織から「学ぶ」組織へ—学校改革のビジョンと実践手法を学べる本。未来の学校、未来の学習は、どうデザインされるべきなのか?—教員、生徒、親、コミュニティの構成員一人ひとりが未来の「学び」のために協働することが求められる今、今日そして未来の学校を意義深いものにしたと願うすべての人にとって必携の一冊。
73	マインドストーム【新装版】 子供、コンピューター、そして強力なアイデア	シーモア・ババート著 奥村 貴世子訳	構築主義学習を提唱し、プログラミング言語LOGOを設計するなど、テクノロジーを活かした体験学習、情報教育の礎を築くとともに、MITメディアラボの前身となる、MIT建築機械グループ認識学習研究班を創設した著者が、LOGOの教育理念とコンピュータによる子供の創造性開発の可能性を語る。原書の初版は1980年ながら、現代の情報教育の原点となるセオリーが散りばめられている。
74	「自己肯定感」を高めて自分を大切にしよう	古荘 純一	10代の子供たちが読んでも、大人が読んでも「自己肯定感」について理解を深められる1冊です。急激な社会の変化がある現在、心と身体へのSOSに耳を傾けてみたいところです。
75	特別支援教育スキマスキル 小学校情学年・中学校編	青山 新吾	学校現場で見られる「困った!」場面における支援方法が「集団への指導スキル」と「個別の支援スキル」の2つの面から解説されています。どのように対応すればよいかを具体的に理解することができます。一冊です。
76	通級指導教室 発達障害のある子への「自立活動」指導アイデア 111 Part2	喜多 好一	自立活動の指導におけるねらいや指導の流れ、指導のポイント等についてのアイデアが満載です。
77	「通級による指導」における自立活動の実践	田中 裕一	実践編では、対象学年・児童の様子から指導方法・指導時間、単元計画、単元計画の指導のねらい、指導の実践等について掲載されており、一連の流れについて理解できるような構成になっています。

NO.	書籍名	著者名	おすすめコメント
78	発達障害のある子へのやさしい「個別の指導計画」作成ガイド	喜多 好一	児童生徒の苦手さには、どのような背景があるのか、学習や行動の領域ごとに詳しく解説されています。初めて個別の指導計画を作成する際には、特に参考になると思います。
79	基本から理解したい人のための子どもの発達障害の支援のしかたがわかる本	西永 堅	自閉症、ADHD、LD、知的障害、インクルージョンについて、1項目見開き2ページで分かりやすく解説されています。発達障害の特徴と支援について理解を深めることができます。
80	子どもの問題行動へのエビデンスある対応術 ケースで学ぶ応用行動分析学	長澤 正樹	目に見える行動をよりどころとし、どうかかわれば今の状態からよりよい状態になるのか…「応用行動分析学」の理論に基づいて子供への対応について分かりやすく紹介されています。
81	教室のできる特別支援教育のアイデア172小学校編（シリーズ教室で行う特別支援教育）	月森 久江	小学校で見られる児童の困難には、何が背景にあるのか、どのように支援したら良いのかについて具体的に解説されています。教師だけでなく、保護者や巡回相談員にも幅広く活用できます。
82	教室のできる特別支援教育のアイデア中学校編（シリーズ教室で行う特別支援教育）	月森 久江	中学校で見られる生徒の困難には、何が背景にあるのか、どのように支援したら良いのかについて具体的に解説されています。教師だけでなく、保護者や巡回相談員にも幅広く活用できます。
83	障害の重い子供のための各教科の授業づくり	下山 直人	学習上の困難が大きい知的障害を伴う重複障害の子供の授業づくりについて、肢体不自由特別支援学校での実践を基に紹介されています。各教科の育む力や授業づくりのポイントが分かりやすく記載されており、参考になる一冊です。
84	特別支援学校 新学習指導要領を読み解く「各教科」「自立活動」の授業づくり	新井 英靖	知的障害特別支援学校の小学部・中学部の各教科等や自立活動の授業づくりのポイントが分かりやすく紹介されています。特別支援学校学習指導要領と授業が結び付けられており、日々の授業づくりの参考となります。
85	特別支援学校 新学習指導要領 目標―指導―評価を一体化する「国語」「算数・数学」の学習評価	新井 英靖	知的障害児の国語と算数・数学の各領域の評価規準だけでなく、指導と評価を一体化するためのポイントが掲載されています。授業づくりを考える際に学習評価の視点を整理するとともに、授業改善の視点をもつことができ、参考になる一冊です。
86	知ってるつもりのコーチング	片山紀子	授業や部活動など具体的な場面から、コーチングを学べます。
87	ワークシートでブリーフセラピー	黒沢幸子	解決志向ブリーフセラピーの技法や発想が、使いやすいワークシートになっています。
88	速解チャート付き 教師とSCのためのカウンセリングテクニック2「気にしたい子」「困っている子」と関わるカウンセリング	諸富祥彦 編集代表	どんな生徒にどう対応したらいいかが、チャート図で「具体的に分かり」「すぐに使える」実践書です。
89	月曜日がつらい先生たちへ 不安が消えるストレスマネジメント	真金 薫子	多忙とストレスにさらされている先生方が、自分と同僚を守るためにできることについて書かれています。
90	セリフでわかる 保護者の安心・信頼につながる対応術：「先生でよかった」と言われる先手のひと言	河村茂雄	保護者の不安を受け止め、安心・信頼してもらえる、具体的対応方法がセリフで解説されています。